令和７年度

決算 一般会計歳出合計は、163億3,855万円

本市の令和７年度決算がまとまり、市議会で認定されました。

一般会計は、復旧・復興事業費等の減少により、対前年度比で歳入が0.7%の増、歳出が3.8%の減となりました。歳入の構成比は主に地方交付税が30.4%と最も高く、以下、国庫支出金14.6%、繰入金12.0%となりました。歳出の構成比は民生費が23.2%と最も高く、以下、総務費19.7%、土木費14.9%となりました。

財政健全化法に基づく判断比率は、国の定める基準を下回り、財政状況は健全であるという結果が出ました。

次世代につなげる持続可能なまちづくりをめざし、「陸前高田市まちづくり総合計画」に基づいた施策を推進すべく、今後とも適切な予算執行に努めていきます。

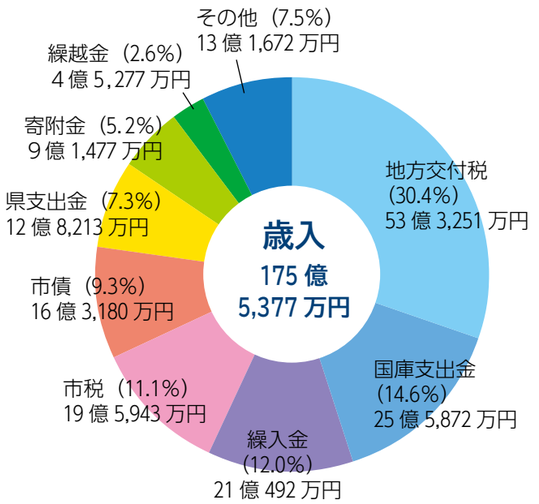


SUPを楽しむ人たち
（交流人口拡大事業）

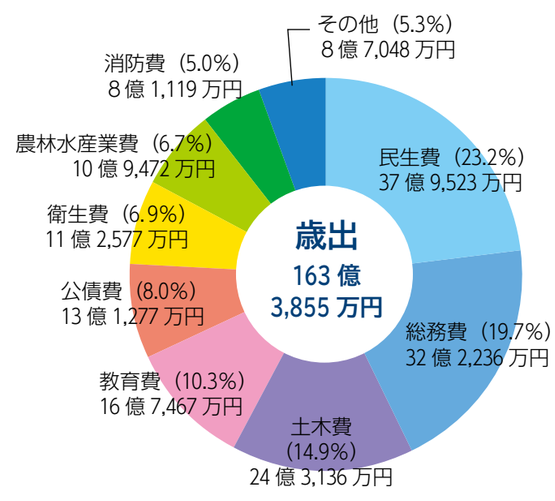
一般会計

（　　）は構成比です。

歳入 175億5,377万円
対前年度比＋1億2,162万円（＋0.7%）



歳出 163億3,855万円
対前年度比△6億4,083万円（△3.8%）





バレーボール・SVリーグ女子の埼玉上尾メディックスのホームゲームを３年ぶりに開催
（スポーツ交流推進事業）

特別会計

※一部表示金額以下で端数調整をしています。

会計名	歳入	歳出
国民健康保険（事業勘定）	19億7,492万円	19億5,821万円
国民健康保険（診療施設勘定）	1億7,077万円	1億7,077万円
後期高齢者医療	3億207万円	3億207万円
介護保険（保険事業勘定）	25億1,375万円	23億9,192万円
介護保険（介護サービス事業勘定）	2,417万円	2,417万円

問い合わせ先　市役所財政課財政係（内線323）

令和７年度の主な実施事業

高田フロンターレスマイルシップ協定10周年事業



協定締結10周年を記念し、グリーンスローモビリティ「モビタ」1台を川崎フロンターレカラーのデザインにラッピングしました。

防災備蓄物資購入事業



避難所の環境改善のため、防災備蓄物資として、パーティション、簡易ベッド、車いす対応組み立て式トイレを購入しました。

こどもの遊び場等整備事業



広田地区コミュニティセンター隣接地に複合遊具を設置し、子どもたちが遊べる場所を整備しました。

企業の森制度推進事業



企業の森制度による協定を締結した企業と林業体験や森林整備活動を実施しました。

サマーフェスティバル開催事業



七夕まつり文化の継承および観光振興のため、山車の展示やお囃子の披露にかかる経費を補助しました。

国際教養大学イングリッシュビレッジ事業



英語への興味関心、学習意欲を高めるため、国際教養大学においてイングリッシュビレッジプログラムを実施しました。

健全化判断比率

すべての比率で、国の定める基準を下回り、**財政状況は健全**であるという結果となりました。

	財政健全	早期健全化基準（黄色信号）	財政再生基準（赤信号）
	0%　陸前高田市の指標		
実質赤字比率	赤字なし	14.01	20.00
連結実質赤字比率	赤字なし	19.01	30.00
実質公債費比率	10.3	25.00	35.00
将来負担比率	実質的負担なし	350.00	

▶実質赤字比率
一般会計などの赤字が経常的な収入に占める割合。

▶連結実質赤字比率
すべての会計の赤字が経常的な収入に占める割合。

▶実質公債費比率
地方債（国や銀行などから借りるお金）の返済額が経常的な収入に占める割合。

▶将来負担比率
将来負担することになっている負債額が経常的な収入に占める割合。